

問 通学バス運行の利用者拡大の考えは

教育長 訓子府高校支援策のため難しい

問 訓子府高校の入学者増の手助けとして今年の春から北見市内の西側地区の生徒を対象とした送迎の通学バス運行事業が行われ今年度の入学生の確保の一助となった。

も何らかの応援があってもいいのではの声も聞かれた。

通学バスの現状は。

い学区の中学校は公共交通機関の乗り換えが必要であり、特に北見市西側の入学者が少ない状況だ。

ただ、町内の北見市内の高校に通う生徒の保護者からは訓子府高校に通う生徒にそまて便宜を図るのか、北見市に通学する生徒に

訓子府高校の振興と安定的な入学者確保のためジャンボタクシーによる運行を4月から実施している。

現状の利用者は7名で定員10名のジャンボタクシー一台で、登校時一便、下校時2便の一日3便を運行している。

計画当初の相内を経由したルートでの逆ルートを使った北見工業高校に通う生徒を対象とした利用者拡大の考えは。

このジャンボタクシーの運行については「訓子府高校」「北見バス」「北見運輸支局」など関係機関と相

また仮に訓子府町内から北見市内の高校に通学するとした場合には通学バスは訓子府高校の登下校の合わせた運行のため北見市内の高校の登下校時間には合わないことが想定される。

通学バスは訓子府高校の振興と入学者確保のための支援策であり利用者対象の拡大については大変難しいと考えている。

走り始めた通学バス
今後は効果的な
利用者拡大を



通学バスに使われるタクシー

談・協議をしながら進めてきた。

北見市内で訓子府高校に通学しにくい西側地域を対象とした新たな通学手段として実施したものであり、あくまでも訓子府高校の振興と入学者確保のためのものだ。

この通学バスの運行にあたっては既存の路線バスを運行している北見バスの運行や経営に大きく影響を与えない範囲での運行が基本だ。

また仮に訓子府町内から北見市内の高校に通学するとした場合には通学バスは訓子府高校の登下校の合わせた運行のため北見市内の高校の登下校時間には合わないことが想定される。

通学バスは訓子府高校の振興と入学者確保のための支援策であり利用者対象の拡大については大変難しいと考えている。

通学バスは訓子府高校の振興と入学者確保のための支援策であり利用者対象の拡大については大変難しいと考えている。



よご 余湖 りゅうぞう 龍三 議員

このジャンボタクシーの運行については「訓子府高校」「北見バス」「北見運輸支局」など関係機関と相

また仮に訓子府町内から北見市内の高校に通学するとした場合には通学バスは訓子府高校の登下校の合わせた運行のため北見市内の高校の登下校時間には合わないことが想定される。



余湖議員の一般質問を視聴できます